

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム遊楽の丘	階数	地上4階
建設地	神奈川県三浦市南浦町上宮田字岩井口乙3451番地 他9筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域・第二種住居・防火指定なし	平均居住人員	170 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年7月13日
敷地面積	5,062 m <sup>2</sup>	作成者	㈱日比野設計
建築面積	1,565 m <sup>2</sup>	確認日	2016年7月13日
延床面積	4,951 m <sup>2</sup>	確認者	㈱日比野設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.1</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <span style="float: right;">Q のスコア = 2.8</span></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <span style="float: right;">Q1のスコア = 2.8</span></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <span style="float: right;">Q2のスコア = 3.1</span></p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <span style="float: right;">Q3のスコア = 2.6</span></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <span style="float: right;">LR のスコア = 3.4</span></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <span style="float: right;">LR1のスコア = 3.7</span></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <span style="float: right;">LR2のスコア = 3.3</span></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <span style="float: right;">LR3のスコア = 3.2</span></p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>要介護の入居者及び介護スタッフ、また来館者が心地よく過ごせるよう採光通風に配慮した平面計画としている。中庭を設け光と風を取り込み、中間期には機械に頼ることなく風が通り抜けるようにしている。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>-</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>F☆☆☆☆建材を全面的に採用、全館禁煙とし空気質環境に十分配慮している。 屋光率を確保し、また中庭を設置し、光・視環境の向上に十分配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>内外装共防汚性に配慮した材料を採用し、維持管理に配慮している。非常用発電機を設置し、通信設備の多様化、補修必要間隔の長い外壁材、配管材を採用し、建物の耐用性・信頼性に配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。視線を遮らない中高木、メッシュフェンスを配置し防犯性に配慮している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>適切な断熱材、全方位庇(バルコニー)、カーテンにより日射取得の縮減をしている。LED照明の積極的な採用など省エネルギーにかかる対策を実施している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>自動水栓に加えて節水型便器などの省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率84%、広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される